

Title	平成3年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 1992, 19, p. 29-30
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/23981">https://hdl.handle.net/11094/23981</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 平成 3 年度事業報告

(財)大阪癌研究会

## 1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から37名の応募者があった。

一般学術研究助成選衡委員会（委員長豊島久真男一大阪大学教授他4委員で構成）で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は別紙のとおり13名であった。

## 2. 乳がん検診

乳がん集団検診では吹田、豊中、池田、箕面、茨木、摂津、大東、松原、藤井寺、羽曳野、豊能、八尾、の12市町の住民の方々及び松原、摂津、吹田、茨木、門真の市教職員について行い総受検者数11,562名、要精検者数276名でそのうち乳がんと判ったのは8名（平成3年12月末現在）であった。

## 3. 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん集団検診については大阪商工会議所、大阪対がん協会、衛生婦人団体、社会福祉協会及び茨木、大東、河南、高石、摂津の5市町の方々及び個人の方々について行い総受検者数7,626名、要精検者数164名のうち、大腸がんと判ったのは5名（平成3年10月末現在）であった。

## 4. がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌18号を刊行し配布した。また、「乳がんの自己診断のすすめ」及び「大腸がん検診のすすめ」等のパンフレットを発行した。

## 別紙

## 平成3年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏名	所属機関	研究テーマ
村口 篤	佐賀医科大学	ヒトリンパ球幹細胞特異的抗原の単離と解析
岡田 全司	大阪大学医学部	11-6遺伝子導入と欠損によるヒト生体 (scidマウス) 内抗腫瘍免疫調節機構
永田 昭久	大阪大学微生物病研究所難治疾患バイオ分析部門分子遺伝研究分野	癌細胞における染色体異常発生の分子機構
張 高明	新潟大学医学部附属病院第2内科内	抗CO3モノクローナル抗体刺激による原発性肺癌症例からの抗腫瘍Tリンパ球の誘導増殖に関する基礎的臨床的研究
片岡 徹	神戸大学医学部第2生理学教室	ras癌遺伝子産物の生理活性におけるファルネシル化の意義
堺 隆一	自治医科大学分子生物学講座	crkがん遺伝子産物の機能領域解析
野間 博行	東京大学医学部第三内科	新しいチロシンキナーゼtecの血液悪性腫瘍における役割の解析
坂本 長逸	神戸大学医学部附属病院	胃癌細胞におけるP53癌抑制遺伝子の役割に関する分子生物学的研究
須川 秀夫	京都大学臨床検査医学教室	甲状腺癌特異的モノクローナル抗体を用いた新しい診断及び治療法の開発
宮崎 保	北海道大学医学部	急性白血病治療における末梢血幹細胞移植とサイトカイン投与との併用療法
加藤 和則	順天堂大学医学部免疫学	バイスペシフィック抗体を用いたスペシフィックターゲット療法の基礎的検討と臨床応用
河原 栄	金沢大学医学部病理学第一講座	扁平上皮癌細胞のインテグリンの動的変化—浸潤モデルを用いた解析
湯浅 保仁	東京医科歯科大学医学部衛生学	発がんの危険因子として診断に用いる遺伝子の検索